

# 教育研究業績書

2023年10月23日

所属：看護学科

資格：助教（臨床）

氏名：枝澤 真紀

研究分野	研究内容のキーワード
高齢者保健	
学位	最終学歴
修士	大阪府立大学大学院看護学研究科博士前期課程

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書、教材		
1. 公衆衛生看護学 第3版	2021年11月	本人担当分：第1部第3章公衆衛生看護の基盤と対象 2-2公衆衛生看護における健康レベル（あらゆる状態）と対象とする人々（p. 84-96）
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 保健師	2014年4月21日	
2. 看護師	2014年4月21日	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. 公衆衛生看護学 第3版	共	2021年11月	中央法規	本人担当分：第1部第3章公衆衛生看護の基盤と対象 2-2公衆衛生看護における健康レベル（あらゆる状態）と対象とする人々（p. 84-96） 編集者：上野昌江，和泉京子 共著者名：上野昌江，和泉京子，吉岡京子，松井菜摘，田口敦子，斉藤恵美子，森田理江，枝澤真紀，三橋美和，吉田裕人，中原洋子，海原律子，足立安正，平野美千代，都築千景，大川聡子，小路浩子，金谷志子，根来佐由美，岡野明美，吉田純子，巽あさみ，安本理沙，郷良淳子，武笠佑紀，新家静，川井太加子，森下安子，佐伯和子，蔭山正子
2 学位論文				
1. 高齢者サロンに來所した地域在住高齢者の見守りサービスへの意識と利用意向	単	2016年3月	大阪府立大学大学院	地域において高齢者の異変を早期に発見できる見守りシステムの構築が求められていることから、見守りサービスの利用を活性化し、見守りのある地域づくりを目指すため、地域在住高齢者の見守りサービスへの意識及び利用意向の実態とサービス利用に関連する要因を明らかにすることを目的とした。高齢者サロンに來所した65歳以上の高齢者を対象に基本属性、見守りの意識・サービスの利用状況（機器・地域住民などの人的な見守り）、身体的健康状態、近所づきあいなどの社会的状況等のアンケート調査を行った。対象者の過半数が緊急通報装置の利用又は利用を希望していた。また、サービス利用者は身体面において不安がある人が多かったため、機器と人的見守りのサービスを組み合わせて利用することや高齢者の加齢に伴う身体的変化等の身体的機能に着目する必要性が示唆された。
3 学術論文				
その他				

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
1. 高齢者サロンに在所した地域在住高齢者の見守りサービスへの意識と利用意向	共	2016年11月	第75回日本公衆衛生学会総会、大阪	地域において高齢者の異変を早期に発見できる見守りシステムの構築が求められていることから、見守りサービスの利用を活発化し、見守りのある地域づくりを目指すため、地域在住高齢者の見守りサービスへの意識及び利用意向の実態とサービス利用に関連する要因を明らかにすることを目的とした。高齢者サロンに在所した65歳以上の高齢者を対象に基本属性、見守りの意識・サービスの利用状況（機器・地域住民などの人的な見守り）、身体的健康状態、近所づきあいなどの社会的状況等のアンケート調査を行った。対象者の過半数が緊急通報装置の利用又は利用を希望していた。また、サービス利用者は身体面において不安がある人が多かったため、機器と人的見守りのサービスを組み合わせる利用することや高齢者の加齢に伴う身体的変化等の身体的機能に着目する必要性が示唆された共同発表者：枝澤真紀、上野昌江、大川聡子担当部分：研究全般を中心となり実施した。
2. 独居高齢者の緊急時に対する備えと工夫-緊急通報システム登録者に着目して-	共	2015年1月	第3回日本公衆衛生看護学会学術集会、兵庫	緊急通報システムに登録している独居高齢者の緊急時への備えと工夫の実態を明らかにするため、緊急通報システムに登録している独居高齢者を対象に、家庭訪問にて、身体的状況、近所づきあいなどの社会的状況、システム利用状況、利用に対する考え等の聞き取り調査を行った。登録者は健康と感じている者が多数であるが、健康面に心配を抱えており、緊急時の対応について関心が高く自分なりに緊急時の工夫をしていた。今回の調査結果から独居高齢者は普段から家族や近隣住民のサポートを受け生活を送っているため、人とのかわりが途切れないようゆるやかな見守りを継続する必要性があると考えられる。共同発表者：枝澤真紀、長尾美波、根来佐由美、上野昌江担当部分：データ収集、分析を担当した。
3. 緊急通報システム登録者の特徴とニーズの実態	共	2014年11月	第73回日本公衆衛生学会総会、栃木	緊急通報システム登録者の特徴やニーズの実態を明らかにし、実情に応じた緊急通報システムのあり方を検討するため、緊急通報システム登録者に家庭訪問にて、要介護認定の有無、家族との連絡状況、緊急通報システムの設置場所・使用経験・要望、緊急時に備えた工夫点等などの聞き取り調査を行った。緊急通報システムの使用経験者は緊急時に備え工夫をしていたが、不安や利便性に関する要望もあることから、緊急通報システムは高齢者のニーズを満たしておらず、システム改良の必要性が示唆された。共同発表者：根来佐由美、上野昌江、枝澤真紀、長尾美波担当部分：データ収集、分析を担当した。
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2023年4月1日～2025年3月31日	西宮市介護認定審査会委員
2. 2022年11月	鳴尾地区連合自治会婦人部研修会 担当
3. 2021年5月～2022年8月	西宮市保健所業務支援活動
4. 2021年4月～現在	まちの保健室プロジェクトメンバー
5. 2021年4月～現在	大阪市旭区母子保健事業検討会 助言者 日本母性衛生協会 日本公衆衛生看護学会 地域看護学会 日本公衆衛生学会